

2025 年 施設における 「看取りと介護の現状と課題を把握するための調査」

～ 調査ご協力をお願い ～

本調査は、入所系施設・事業所における看取りケアの現状と課題を把握することを目的として、滋賀県が実施するものです。実施にあたっては、滋賀県の委託を受け、滋賀県老人福祉施設協議会が調査業務を担います。

1. 調査の目的

特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホームなどの生活の場や在宅における看取り介護は、医師・看護職・介護職・介護支援専門員・その他の専門職など多職種の連携によって支えられる実践が極めて重要です。

また、地域包括ケアシステムの構築が進む中で、ご本人の思いや生き方を尊重した看取りケアを多職種で協働して行うことが求められています。こうした背景を踏まえ、より充実した看取りケア体制の整備を図るために、現場における看取り介護の現状調査と課題及び成果を明らかにすることを目的として、本調査を実施します。

本調査は、これまで2016年および2020年に実施されており、今回で3回目となります。これにより、看取り介護の現状や課題の変化及び成果を継続的に把握することが可能となります。

2. 調査の方法

郵送配布による Web によるアンケート調査 を実施します。対象は、滋賀県内の高齢者介護の各事業所の施設長（管理者）にて回答をお願いします。複数の事業所を併設されている場合には、事業所毎の回答をお願いいたします。Web 環境に対応不能な場合は、郵送・Fax 回答にて回収することを可能とします。

3. 回答所要時間：約 30 分

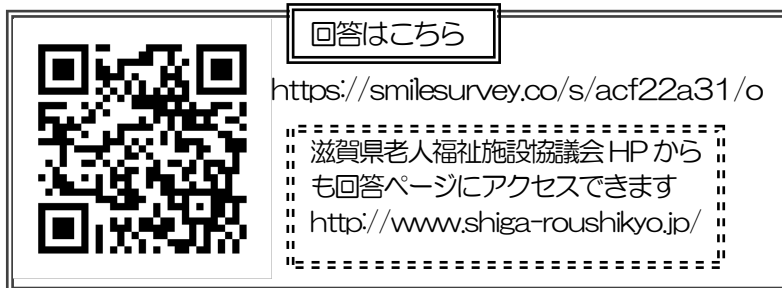
4. 調査の公表

2025 年度末に滋賀県老人施設協議会のホームページにて報告書として公表いたします。この調査は滋賀県の委託事業であり、今後の看取りケア体制の充実に資する重要な基礎資料になります。施設名は公開されず、匿名化した上で報告書といたします。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【調査に関するお問い合わせ先】

滋賀県老人福祉施設協議会 事務局
野洲慈恵会特別養護老人ホームあやめの里 松尾道子
✉ m.matsuo-ayame@yasujikeikai.jp
☎ 077-589-8533



2025 年 11 月 30 日

までにご回答をお願いいたします

看取りケアの実施状況について伺います。

問7 過去3年間に施設での看取りケア等実施状況を以下の表にご記入ください。

	①死亡退所された人数(急変者含む)	②施設(事業所)の看取りケアを希望された人数	③施設(事業所)の看取りケアを希望していたが、病院で亡くなった人数	④施設・病院以外の看取りケアを希望され亡くなった人数	⑤病院を希望され、亡くなられた人数
2022年度	のべ 人	のべ 人	のべ 人	のべ 人	のべ 人
2023年度	のべ 人	のべ 人	のべ 人	のべ 人	のべ 人
2024年度	のべ 人	のべ 人	のべ 人	のべ 人	のべ 人

※①の総数と②～⑤の合計は一致しない場合があります(転院後死亡、急変等のため)

- ① 施設(事業所)での死亡退所の人数
- ② 施設(事業所)での看取りケア実施にて死亡退所人数
- ③ 施設(事業所)での看取りを希望していたが、病院にて死亡退所人数
- ④ 施設(事業所)・病院以外の本人・家族の望む場所での看取りケアを希望され亡くなられた人数(例えば在宅看取りを希望された)
- ⑤ 施設(事業所)での看取りは希望されず、病院での治療を希望し、病院にて死亡退所人数

看取りケアへの施設の方針について伺います。

問8 ご本人やご家族が施設内での看取りを希望された場合の施設の方針についてお答えください。
(1つに○)

1. 原則、施設での看取りケアを実施 2. 原則、病院への入院へ移行 3. ケースバイケース 4. その他()

問9 施設・事業所では看取りケア体制はありますか。(1つに○)

1. ある	2. ない(今後検討予定・検討中も含む)
-------	----------------------



そのまま問10
(次のページ)へ



問34(P10)へ

【問9で①と回答された看取りケア体制のある施設（事業所）のかた対象】

看取りケア体制についてお伺いします。

問10 看取りケアをいつから実施していますか。(1つに○)

1. 西暦（ ）年頃から 2. わからない

問 11 看取りに関する指針を作成していますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

問 12 看取りのマニュアルを作成していますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

問 13 看取り期について本人の希望をいつ確認していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 入所時
2. 看取り期の状態であると判断したとき
3. 心身の状態に変化があったとき
4. 日常生活の会話の中
5. その他（ ）

問 14 看取り期について家族の希望をいつ確認していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 入所時
2. 看取り期の状態であると判断したとき
3. 心身の状態に変化があったとき
4. 日常生活の会話の中
5. その他（ ）

問 15 施設の看取り指針や方針について本人・家族等にどのような方法で説明していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 契約時に説明する
2. 入所前に説明する
3. 入所時オリエンテーション等で説明する
4. 家族会と説明会で説明する
5. 通常のサービス担当者会議で説明する
6. 状態の変化や看取り期が近づいてきた段階で説明する
7. その他 ()

問 16 看取りケア計画を家族や本人にどのような方法で説明し、同意を得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 看取りの判断がされたとき
2. 看取り期のサービス担当者会議のとき
3. 本人・家族が施設（事業所）での看取りケアを希望されたとき
4. 施設サービス計画書に看取りケア計画を盛り込み説明している
5. 施設サービス計画書とは別に看取りケア計画書を作成し説明している
6. その他 ()

問 17 看取りに関する体制について、嘱託医（配置医師）の協力は得られていますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

※『はい』の方は問18へ

※『いいえ』の方は問19へ

問 18 具体的な協力はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 24 時間オンコール対応・緊急時のかけつけ
2. 常勤医や施設長による対応
3. 家族への説明（インフォームドコンセント）
4. その他 ()

※問18回答後は問20（次のページ）へ

《問 17 で『いいえ』と回答された方にお聞きします》

問 19 具体的な協力はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 夜間対応ができない
2. 頼める医師が近隣にいない
3. その他 ()

《看取りケア体制がある皆様にお聞きします》

問 20 嘱託医（配置医師）は夜間の対応が可能ですか。(ひとつに○)

1. はい
2. いいえ

問 21 嘱託医（配置医師）は休日の対応が可能ですか。(ひとつに○)

1. はい
2. いいえ

問 22 嘱託医（配置医師）に関することで課題はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 施設職員との連携不足
2. 緊急時の対応
3. 医療とケアの継続性
4. 看取りに関する専門知識と経験が乏しい
5. その他 ()

問 23 看取りケアを実施する上で主に関わる職種はどの職種ですか。(あてはまるものすべてに○)

	日中	夜間
1. 施設長（管理者含む）		
2. 介護支援専門員		
3. 生活相談員		
4. 看護職員		
5. 介護職員		
6. 理学療法士・作業療法士		
7. 管理栄養士・栄養士		
8. その他 ()		

看取りケアに関するビジョンや理念（大切にしている思い）について伺います。

問 27 看取りケアに関して大切にしていることはなんですか。(あてはまるもの3つまでに○)

選択肢	3つまで○をつけてください
1. 本人・家族の意向の尊重	
2. 家族等との連携	
3. 本人・家族と共に過ごすことのできる時間	
4. その人らしさ・尊厳の保持	
5. 安楽と苦痛の緩和	
6. 環境・生活面の工夫	
7. 職員の姿勢・チームケア	
8. 人生の振り返り（ご本人としてのしておきたいことの実現等）	
9. 日常の暮らしの延長上の看取り	
10. その他（	）

問 28 施設で看取りケアの実践で成果があったと感じたことはありますか。(ひとつに○)

1. はい 2. いいえ

※『はい』の方は問29へ

※ 『いいえ』の方は問30へ

問 29 次の1～10（その他の場合はその内容を記載）のうち、特に成果があったものを3つ選んで回答ください。（あてはまるもの3つまでに○）

選択肢	3つまで○をつけてください
1. 本人の思い・希望を尊重するケアができた	
2. 看取りケアにおいて多職種連携・チームとしての姿勢の変化が見られた	
3. 家族への支援や家族との関係づくりができた	
4. 看取りケアの経験が職員の学びや気づきを得ることができた	
5. 看取りケアの実践から情報共有やカンファレンスがより充実するようになった	
6. 看取りケアの実践により記録の内容が充実するようになった	
7. 看取りケアにおける環境づくり・雰囲気づくりへの取組みが高まった	
8. 看取りケアにおける医療連携や地域連携ができるようになった	
9. 苦労や困難なことがあったが乗り越え看取りケアを実施することできた	
10. その他 ()	

問 30 看取りケアを実施して（職員の成長、心温まるエピソードなど）良かった事があれば記入してください。（自由記載：200字以内）

[illegible]

看取りケアに関する課題について伺います。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

※ 『いいえ』の方は問34へ

問 32 次の1～14（その他の場合はその内容を記載）のうち、特に重要な課題を3つまで選んで回答ください。（あてはまるもの3つまでに○）

選択肢	<u>3つまで〇をつけ てください</u>
1. 症状が急変したときの対応が不安である	
2. 痛みのコントロールが難しい	
3. 主治医（かかりつけ医）の往診が困難	
4. 協力病院との連携が十分でない	
5. 看護職員の人員体制が十分でない	
6. 介護職員の人員体制が十分でない	
7. 本人の意思の確認が十分でない	
8. 家族の理解協力が得られない	
9. 親戚等の理解協力が得られない	
10. 協力される家族の負担が大きい	
11. 終末期ケアについての家族の知識が不十分	
12. 終末期ケアについての職員の知識が不十分	
13. 人の死に直面する職員の精神的な負担が大きい	
14. その他（ ）	

問 33 課題解決するために必要と思われることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. スタッフの教育や研修、対応マニュアルの整備
2. 嘱託医（配置医師）や看護師の協力による痛みのコントロール
3. 急変したときの不安を軽減できるような人員配置
4. 本人や家族の意思を事前に確認すること
5. 職員への精神的なフォロー
6. 医療機関等への連携による痛みのコントロール
7. その他 （ ）

※看取りケア体制がある方は問 38 にお進みください

《看取りケア体制がない皆様にお聞きします》

問 34 施設で看取りケアを実施していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. スタッフの課題 ⇒問 35 へ
 2. 施設の方針
 3. 家族等の連携の問題
 4. 施設の問題（部屋などハード面）
 5. その他 （ ）
- } ⇒問 36 へ

問 35 スタッフの課題としてどんなことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 看護職員の不安
2. 看護職員の勤務体制
3. 介護職員の不安
4. 介護職員の知識不足
5. 嘱託医の考え
6. 嘱託医の勤務体制
7. 介護支援専門員や生活相談員の調整
8. 多職種協働がうまくいかない
9. その他 （ ）

《看取りケア体制がない皆様にお聞きします》

問 36 . 将来的に看取りケアを実施しようとお考えですか。(ひとつに○)

1. はい 2. いいえ（予定はない）

問 37 施設内で看取りケアを進める際にハードルになるとと思われるものは何ですか。

次の1～14（その他の場合はその内容を記載）のうち、特に重要な課題を3つまで選んで回答ください。（あてはまるもの3つまでに○）

選択肢	3つまで○をつけてください
1. スタッフの精神的負担	
2. スタッフの体制整備	
3. 医師の24時間体制や緊急時の連絡体制	
4. 看護職員の24時間体制や緊急時の連絡体制	
5. 施設職員内での看取りケアに関する知識や技術不足	
6. 家族との連携体制	
7. 終末期が迎えられるような居室などの環境整備	
8. その他（ ）	

《皆様にお聞きします》

重度化対応状況についてお伺いします。

問 38 施設内で対応可能な医療処置は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 人工呼吸器の管理	2. 気管切開の管理
3. 喀痰吸引	4. 酸素療法の管理
5. 末梢点滴の管理	6. 中心静脈栄養の管理（CVC、CVP）
7. 鼻腔栄養の管理	8. 胃瘻の管理
9. 腸瘻の管理	10. 人工肛門の管理
11. 膀胱瘻の管理	12. 導尿
13. バルーンカテーテルの管理	14. 腹膜透析の管理
15. 血糖測定・インスリン注射	16. 褥瘡の管理
17. 服薬管理	18. 麻薬管理
19. その他（	）
20. 医療処置はない	

問 39 介護職員による喀痰吸引のできるスタッフは何人いますか。

喀痰吸引対応スタッフ数 （ ）人
--

問 40 看取りケア・重度化対応について、ご意見・ご要望があれば自由にご記入下さい。

救急搬送の現状についてお伺いします。

問 41 （概ね過去1年間）看取り期（終末期）の入所者が急変した場合に、救急車を要請したことがありますか。

(ひとつに〇)

- | |
|-------|
| 1. ある |
| 2. ない |

問42 （概ね過去1年間）入所者（全員）の救急車を要請したことがありますか。（ひとつに○）

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | ⇒問43へ |
| 2. ない | ⇒問51へ |

《概ね過去1年間に救急車を要請したことがある方にお聞きします》

問43 救急車を要請した際の入所者の状況はどのような症状ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 一般負傷（骨折、けが、やけどなど）
2. 発熱
3. 嘔吐
4. 吐血・下血
5. 呼吸困難（SpO2 低下）
6. ひどい痛み（頭痛・胸痛など）
7. 意識障害・麻痺
8. けいれん
9. 心肺停止
10. その他（

問44 救急要請をしようか迷った事例はありますか。(ひとつに○)

1. ある ⇒問45へ
2. ない ⇒問46へ

問45 救急要請をしようか迷った具体的にどのような症状でしたか。

--

問46 “昼間”に救急車の要請を判断する主な職種はどなたですか。(ひとつに○)

1. 配置医師
2. 主治医（かかりつけ医）
3. 施設長（管理者を含む、医師）
4. 施設長（管理者を含む、医師以外）
5. 看護職員
6. 介護職員
7. その他（ ）

問47 “夜間”に救急車の要請を判断する主な職種はどなたですか。(ひとつに○)

1. 配置医師
2. 主治医（かかりつけ医）
3. 施設長（管理者を含む、医師）
4. 施設長（管理者を含む、医師以外）
5. 看護職員
6. 介護職員
7. その他（ ）

問 48 救急車への付き添い（同乗）をおこなっていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 職員が付き添った（救急車に同乗した） ⇒ 問 49 へ

2. 職員が搬送先へ向かった（救急車に同乗しなかった）

3. 職員は付き添わなかった

4. その他 （

）

⇒ 問 50 へ

問 49 主にどのような職種の方が付き添われましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 施設長（管理者を含む）

2. 介護支援専門員

3. 生活相談員

4. 看護職員

5. 介護職員

6. その他 （

）

※問 49 を回答された方は、問 51 にお進みください

《職員が“付き添わなかった”方にお聞きします》

**問 50 職員が付き添わなかった方にお聞きします。その場合の対応をお答えください。
（あてはまるものすべてに○）**

1. 家族に搬送先に向かうように要請した

2. 救急隊員に対応を任せた

3. その他 （

）

《すべての方にお聞きます》

問 51 救急要請に関する課題としてどんなことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 職員の同乗・付き添いが困難
2. 職員へのマニュアル・教育が不十分
3. 家族への迅速な連絡・同意が困難
4. 救急要請が適切かどうかの判断が難しい
5. その他 ()

問 52 救急対応マニュアルはありますか。(ひとつに○)

1. はい
2. いいえ

問 53 救急対応訓練を実施していますか。(ひとつに○)

1. はい
2. いいえ

看取りケア及び重度化対応に関する研修についてお伺いします。

問 54 看取りケア及び重度化対応に関する研修を実施していますか。(ひとつに○)

1. 実施している(定期的に) ⇒ 問 55 へ
2. 実施している(不定期に) ⇒ 問 55 へ
3. 以前は実施していたが、現在は実施していない ⇒ 問 58 へ
4. 実施していない ⇒ 問 58 へ

問 55 (研修を実施している方) 研修の形式はどのような方法ですか。(ひとつに○)

1. 自施設内職員による勉強会
2. 外部講師を招いての研修
3. 外部研修に参加
4. eラーニング・動画研修
5. 書籍・資料を使った自主学習
6. その他 ()

問 56 （研修を実施している方）研修対象とする職種はどなたですか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 施設長（管理者を含む）
2. 介護支援専門員
3. 生活相談員
4. 看護職員
5. 介護職員
6. 理学療法士・作業療法士
7. 管理栄養士・栄養士
8. その他 （ ）

問 57 （研修を実施している方）研修の主な内容・テーマはどのような内容ですか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 看取りケアに関する尊厳・倫理・基本的な姿勢について
2. チーム連携・多職種協働・役割分担について
3. 看取り期における身体の変化について
4. 家族との関わり
5. 医療的対応（看取り期の身体の症状と対応の仕方等）
6. 褥瘡予防について
7. 死亡診断とエンゼルケアについて
8. 看取り後の支援について
9. 事例検討
10. その他 （ ）

《すべての方にお聞きします》

問 58 研修を実施するにあたり課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. ケア業務が優先されるため、研修に時間が確保できない
2. 講師依頼や参加費を出す予算が取れない
3. 現場に行かせる研修内容が見つからない
4. 特定の職種しか参加できない
5. 実施回数が少なく、継続性がない
6. 職員のモチベーションが低く研修に参加しない
7. 特になし
8. その他（ ）

問59 今後、望ましい研修の形式はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自施設での内部研修
2. 他法人との合同研修
3. 外部講師を招いての研修
4. 外部研修に参加
5. eラーニング・動画研修
6. 他施設との交流や見学
7. 体験的に学べるワークショップ形式
8. オンライン研修
9. その他（ ）

問 60 その他研修に関して工夫していることや課題などあれば自由に記載してください。

--

滋賀県老人福祉施設協議会の取組に関することについてお伺いします。

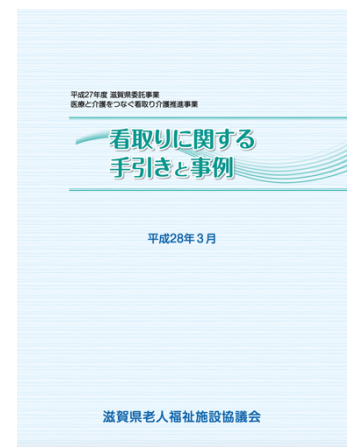
問 61 滋賀県老人福祉施設協議会から「看取りに関する手引きと事例」(2015)が発行されています。

<http://www.shiga-roushikyo.jp/wp-content/uploads/2016/06/1bf9eb13ef01a93da317ce1c22306aba.pdf>

発行されていることは、ご存じですか？(ひとつに○)

1. はい

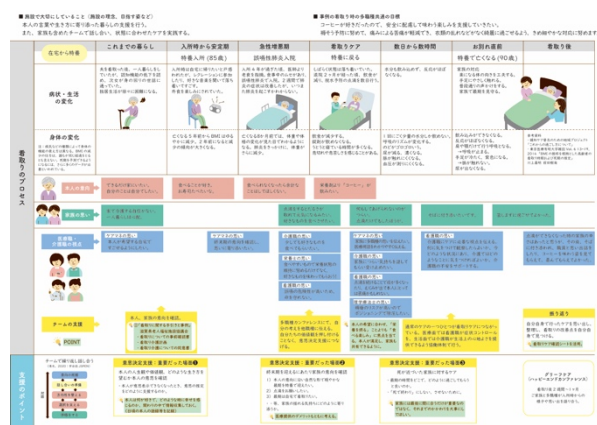
2. いいえ



問 62 滋賀県老人福祉施設協議会から「看取りの見える化シート」(2022～)を発行し、研修事業を行っております。看取りの見える化シートは、関わる人々が思いを語ることにより言語化し、共有し、本人の思いに寄り添いプロセスが見えてくるシートになります。看取りの見える化シートのことをご存知ですか(ひとつに○)

1. はい ⇒問 63へ

2. いいえ ⇒調査終了です。



問 63 看取りの見える化シートの使用状況を教えてください。(ひとつに○)

1. 使用したことがある

2. 使用したことはない

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。